

○指導のねらい

個々で表現するものの違いを受け入れ、他者と協同して活動することの楽しさを感じる。

○準備するもの

- ・(展開例①) 簡単な図形が描かれたカード1枚(モデル図版参照)
- ・(展開例②) 児童生徒が作成したカード、画用紙、マジック、ふりかえりシート

○教育課程、実施時期

- ・特別活動(学級活動・ホームルーム活動) ・SHR 等

○指導のポイント・留意点など

紙に描かれた線図からイメージするものを線図に書き足して絵に仕上げる活動である。最初に、活動のイメージを持たせるために、児童生徒の協力を得て、線図からイメージするものを絵にする作業の例示を行うと活動がスムーズにしやすい。

展開例①

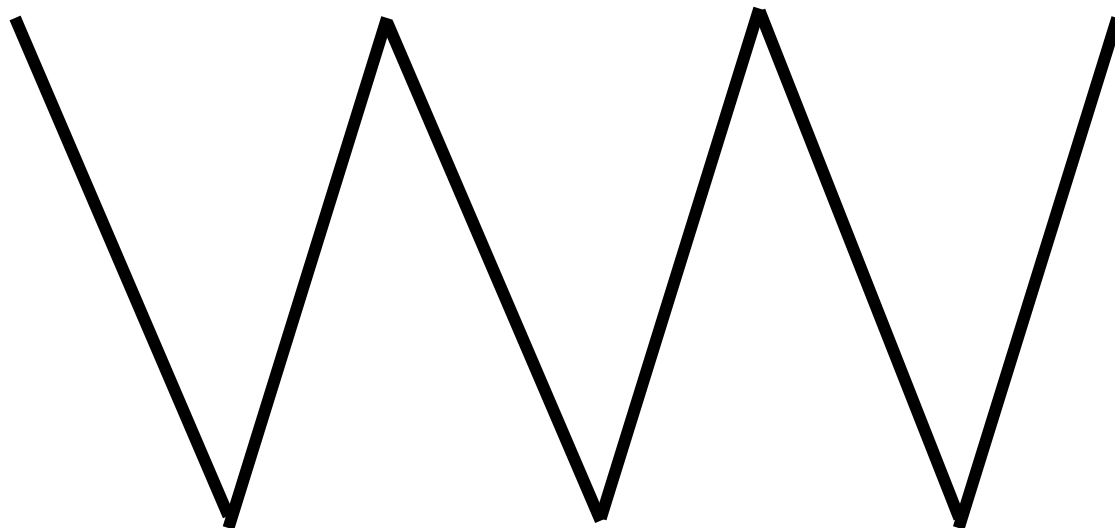
	教員の指示	指導上の留意点
導 入	○ 今から、簡単な図が書かれた紙を配ります(モデル図版参照)。その図から想像したものを、図に書き加えて絵にしてみましょう。 ○ では、例としてやってみましょう。この図を書き足して、絵にしてみましょう。3人の人にやってみましょう。 ○ 人それぞれイメージしたものが違い、いろんなものが出来上がりましたね。やり方は、分かりましたか。	○ 例示することで、活動の手順やイメージを持たせる。
展 開	○ では、一人に一枚図の描かれた紙を配ります。例とはちがう図ですが、これに書き足して絵を完成させてください。	○ 絵の上手、下手は関係ないことを伝える。 ○ 人の絵を否定するような発言をさせないよう声を掛ける。
ま と め	○ 出来上がりましたか? 同じ図をみても、人それぞれ感じ方が違い、イメージして出来上がるものも違いますね。イメージしたものが同じであっても、出来上がり	

	はどれ一つとして同じものはないですね。この違いを大切にしたいものですね。 ○ この絵を使って次の時間は、お話を作ってみようと思います。楽しみにしておいてくださいね。	
--	--	--

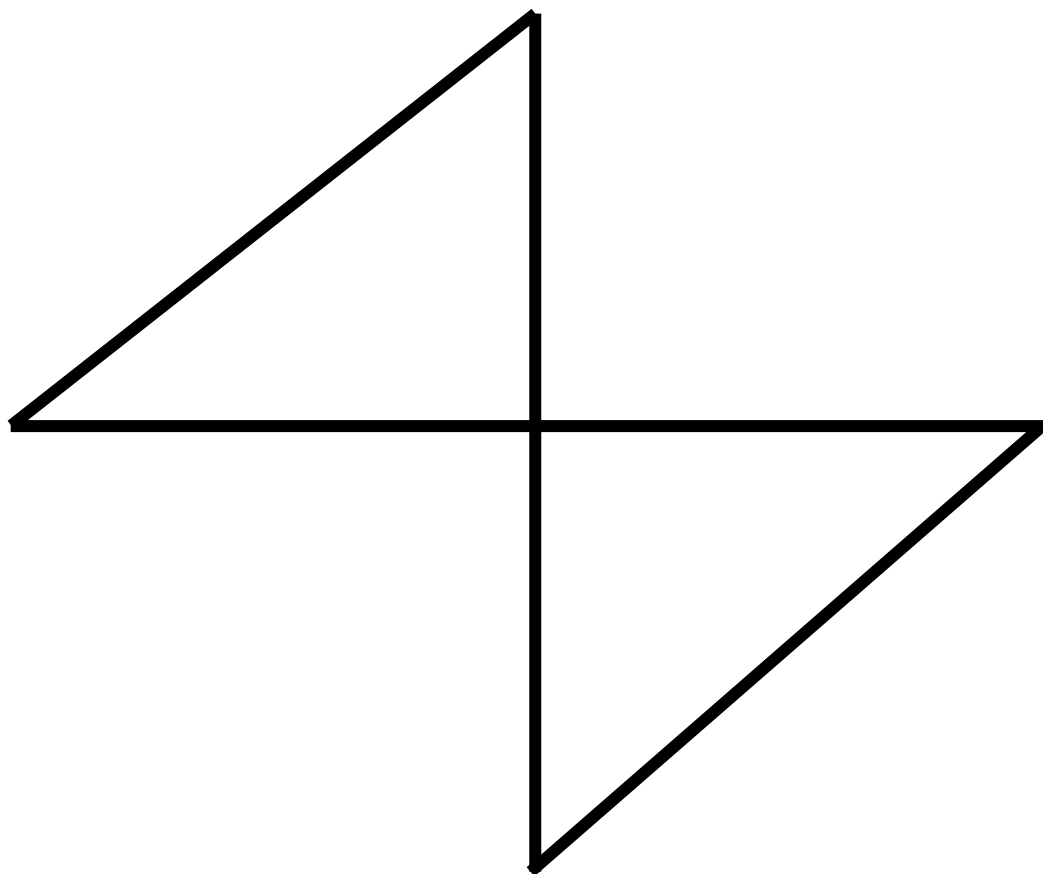
展開例②

	教員の指示	指導上の留意点
導入	○ 今日は4人で活動します。 ○ 前回、図に書き足して出来上がった絵を見てください。4人でそれを見せ合い、なぜその絵を作ったのかをお互いに説明しましょう。	○ 絵の上手、下手は関係ないので、否定的な発言をしないことを約束させる。
展開	○ 仲間と話合って、4つの絵を好きなように並べて一つの物語を作ってみましょう。一つ例を紹介しましょう。	○ 例を示して、活動のイメージを持たせる。
まとめ	○ 4人で協力し、みんなの意見を取り入れて作りましょう。話し合いをするときには、前回の活動を生かし、相手が話しやすい聞き方も取り入れて活動しましょう。 ○ ストーリーに出てくる順番に画用紙に絵を貼り合わせてください。貼り合わせた絵の横に作ったストーリーを書いてください。 ○ 「ふりかえりシート」に記入しましょう。 ○ それぞれの違いを受けとめながら、友だちと協力して1つの話を作る喜びを体験してもらいました。クラスみんなの作品を教室掲示しておきますので、違いを楽しみ、それがどんな話になっているのか見てくださいね。	○ きちんとした物語を作ることよりも、4枚の絵を全部使うこと、皆で意見を出し合って考えることが大切であることを意識させる。 ○ 活動にうまく参加できていない生徒はいないか、注意してみる。 ○ 作業もお互いに協力しあって進めるよう声をかける。 ○ うまく分担しながら活動できているグループがあれば、みんなの前でしっかりとほめる。

【4つの線の物語「モデル図版①」】



【4つの線の物語「モデル図版②」】



ふりかえりシート（「4つの線の物語」）

年 組 名前 _____

1. 今日の活動をふりかえり、自分の気持ちに当てはまるもの全てを選び、○をつけましょう。

話を聞いた 話を聞けなかった 思いを伝えた 思いを伝えられなかった

協力できた 協力しにくかった 安心感があつた もやもやした

2. 今日の活動で気づいたことや思ったことを書いてみましょう。

.....

.....